

100-155

問題文

催眠・鎮静作用を示す薬物に関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。

1. フルニトラゼパムは、少量でrapid eye movement(REM)睡眠を強く抑制する。
2. レボメプロマジン_{レボメプロマジン}は、 γ -アミノ酪酸GABA_A受容体のGABA結合部位に作用する。
3. ジフェンヒドラミンは、中枢のヒスタミンH₁受容体を遮断する。
4. トリアゾラムは、細胞内へのCl⁻流入を促進することで、神経の興奮を抑制する。
5. フェノバルビタールは、グルタミン酸NMDA受容体を刺激する。

解答

3, 4

解説

選択肢 1 ですが

フルニトラゼパムは、ベンゾジアゼピン系の薬物です。ベンゾジアゼピン系はREM睡眠の抑制が少ないことが一つの特徴とされています。よって、選択肢 1 は誤りです。

選択肢 2 ですが

レボメプロマジンは、フェノチアジン系の薬物です。D₂受容体遮断に加え、 α 受容体遮断作用などを有します。作用機序は完全に明らかにはされていませんが、GABA_A受容体に対する作用は知られておらず、正しいとはいえません。よって、選択肢 2 は誤りであると考えられます。

選択肢 3,4 は、正しい選択肢です。

ちなみに、選択肢 4 のトリアゾラムも選択肢 1 のフルニトラゼパムと同様に、ベンゾジアゼピン系の薬物です。

選択肢 5 ですが

フェノバルビタールは、GABA_A受容体のバルビツール酸誘導体結合部位に結合し、GABA神経系の活動性を高めることで抗てんかん作用を示します。グルタミン酸NMDA受容体を刺激するわけではありません。よって、選択肢 5 は誤りです。

以上より、正解は 3,4 です。